

令和4年度 放課後活動指導者研修④ 実施報告

実施日：令和4年7月15日（金）

◎当研修は、子どもたちが地域社会の中で、安全に、心豊かに育まれる環境づくりを推進している放課後子ども教室や放課後児童クラブ関係者の資質向上を図るための研修です。今回は、64名の参加者が、不審者から子どもたちを守るための演習を行いました。

○「もしもの時も落ち着いて～子どもを守る危機管理～」（防犯編）

- ・講話「もしもの時も落ち着いて～不審者から身を守る～」

栃木県くらし安全安心課 副主幹 小平 肇 氏

栃木県警察本部人身安全少年課 巡査部長 小熊 恭平 氏



まず、講師から栃木県内の犯罪情勢や声かけ事案についての説明がありました。受講者は身近なところで不審者が出現していることを知り、驚いた様子でした。また、栃木県警察本部から出している「ルリちゃん安全メール」などから、不審者の情報を積極的に収集、共有して欲しいとの説明に熱心に耳を傾けていました。

さらに、不審者が現れたときの声のかけ方や、退去の求め方などの具体的な対応法についても、説明がありました。受講者は、子どもたちを守るために役割分担を決めておくなど、日頃の安全管理への意識を高めていました。

参加者の声

- ・防犯のために、日頃から警察官やスクールサポーターとのコミュニケーションを大切にしたいと思いました。
- ・不審者の情報は、受動的ではなく、能動的に入手・共有することが大切だと思います。
- ・今回学んだことを次の避難訓練にいかし、子どもたちの安全を確保していきたいです。



・演習「不審者への対応について」

栃木県警察本部 人身安全少年課 警部補 墨田 満 氏

巡査長 神野 恭平 氏

巡査長 鈴木 桃子 氏



演習では、不審者が現れたことを想定してロールプレイを行いました。講師の方からは不審者を取り押さえることが目的ではなく、警察官が駆けつけるまでの時間を確保することが重要だとの説明がありました。

また、不審者に対応するときは、不審者が退去するまでよく見る「目付け」、不審者との距離を保つ「間合い」、相手を制止させるための「気合い」が必要であるとの話を聞いた後、実際にさすまたを使う演習を行いました。子どもたちの命を守るための演習であり、受講者は、もしもの時に備えて真剣に取り組みました。

参加者の声

- ・ロールプレイで講師の方から、直接さすまたを扱うコツについてアドバイスをいただき、ありがたかったです。
- ・不審者が現れたときの通報や、隔離の仕方が勉強になりました。
- ・さすまたを使う訓練を日頃から行いたいと思いました。



研修内容の詳細に関するお問い合わせは栃木県総合教育センター生涯学習部まで

TEL:028-665-7206

e-mail: skc-syougai@pref.tochigi.lg.jp